

して——「死ぬ」の手まね。

こらえる 五指の指頭を左にさし掌を下に向けた右手を僅かに彎曲させて、腹上部にびったりとつけて下へ圧えるように降す。腹の虫を圧えること。

衣（法衣）僧——着物。

根本 「根」と同じ手まね。

## サ

サード（三墨手）「司<sup>つかさど</sup>る、（政治と同じ手まね）の手まねの姿態のまま、右手（腕を立てた方）で、「三」の数を表わす。☞

採決 会議——決める。

最後 「終り」と同じ手まね。

最初 「初め」と同じ手まね。

裁判 指頭を上にした両手の親指を左右に対立させ、交互に上下させる（批駁の手ま

ね）、考える表情をして——見きわめる（「監視」と同じ手まね）

財布 左手の掌を右側に向け、指頭を前ににした五指を曲げて、親指と他の四指でコの字形をつくり、財布の口を形どり、右手で「金銭」を表わしたのを、その財布の口にさし入れ、その手で財布の口についているとめ金をねじってしめる身振をする。

裁縫 両手の夫々人差指と親指の指頭をつけ合わせて、一方に針を一方に布を持った心得で、両手の手首を動かし左へ移動させる。物を縫って行く身振。

採用 男性或は女性を表わした左手の指の少し上で、右手の指頭を下にした五指を集めてものをつかむようにして、同時に両手を胸元に引き寄せる。

幸い 「幸福」と同じ。  
遮る 身をかばうように、左手を右胸脇に

びったりつけ、五指の指頭を上にしし掌を内側にした右手を腕の肘を軸にして、宛う、踏切りの遮断機を降すように、左へ降す。

竿 人差指と親指で輪に（他の三指は開いたまま）した両手（左手の掌は内側向き、右手の掌は前向き）を胸の前で或間隔を置いて斜めに（左手は少し下に）竝らべて、同時に両手を区切るように少しづつ停止させながら離して行く。竿（竹）の節を表わす心得。

坂 「道」の手まねの両手の運動を斜め上に向ける。

境 「遮る」と同じ手まね。

逆さ (4) 上向けた左の掌の上に、右手の指頭を下にさした人差指と中指を一旦載せて（人の立つ姿）すぐに、人が逆立ちするよう二指の指頭を上に向け変えて再び左掌の上に乗せる。

(4) 右手の拳を手首のところへ額につけ、

左手の拳を手首のところへ後頭部につけてから、同時に両手をぐるり頭をめぐらして、その位置をとり変える。前後を逆さにすること。(4) 掌を下に向ける五指の指頭を集め合わせて物をつまむようにした左手。その下に少しの間隔を置いて掌を上向け五指の指頭を集め合わせた右手の位置をぐるりと上下に反転させる。上のものが下に、即ち逆さになること。

探す 人差指と親指で輪をつくった手（他の三指は上に伸ばしたまま）を眼の前近くに持って行き、その輪をぐるぐると上下左右に廻わす。眼を皿にして辺りを見廻すこと。

酒盛 人差指と親指で猪口を持った姿にした両手を交互に前に出しては手前へ引き寄せ、（献盃）、酒を飲む真似。

詐欺 騙す——金銭——盗む。

作業 「仕事」と同じ手まね。